

令和2年7月27日

学生各位

大阪芸術大学
学長 塚本邦彦

新型コロナウイルス感染者増加に伴う今後の授業について

現在、新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあります。大阪での感染状況の目安となる大阪モデル（大阪府新型コロナ警戒信号）は黄色信号となっており、東京での感染状況は著しい増加傾向にあります。

本学でも感染者が確認されておりますので、学内での感染防止策をより一層徹底し、感染者の増加を防ぎたいと思います。学生個々においても、学内外を問わず感染防止を心がけて行動してください。

今後、大阪モデルが赤色信号になった場合や、本学における感染者が著しく増加傾向にあると判断した場合には、全ての授業を遠隔授業とする可能性があります。

後期授業については、新型コロナウイルスの感染状況を把握しながら、対面授業と遠隔授業を並行して行い、授業時間の確保及び質の保証を目指します。各科目の授業方法（対面・遠隔など）については、大阪芸大 UNIPA で担当教員からお知らせします。

大阪モデルが緑色信号になり、感染状況が減少傾向だと判断された場合には、対策を講じながら可能な限り対面授業の実施を目指したいと考えています。

感染状況が日々変化する中で、学生・保護者の方・教員にも様々な考え方や意見があると思います。

対面授業においては感染防止策を徹底し、新型コロナウイルス感染症の影響等により出席することができない学生には別対応可能な授業を実施し、学修効果が期待できる科目では遠隔授業を取り入れるなど、感染状況や学修成果などを多面的に検証しながら、安全な状況で、安心して学修を進めていくことができるよう努力したいと考えています。

感染防止に努めることや感染状況による授業方法の変更への対応など、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。